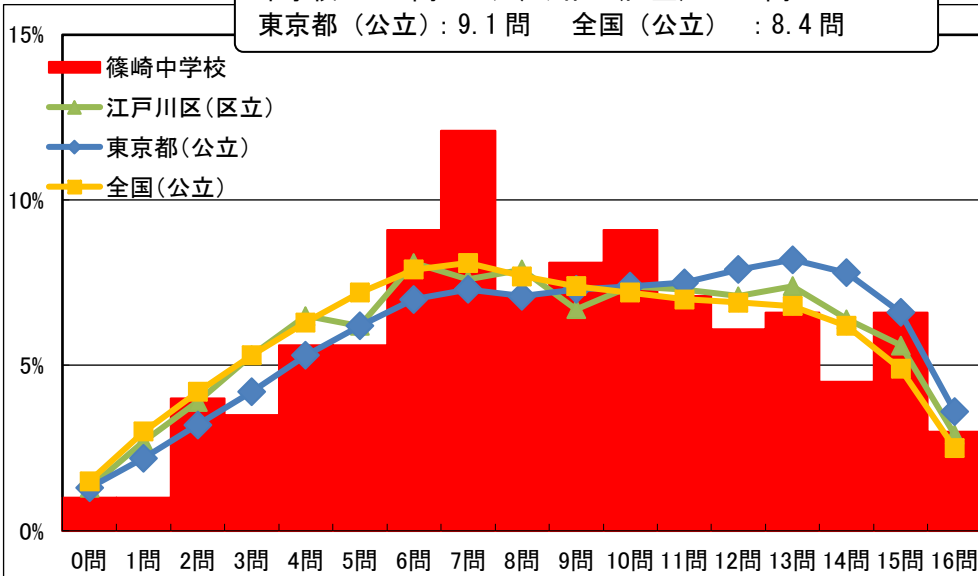


# 令和6年度 全国学力・学習状況調査結果と改善に向けて【数学】 篠崎中学校

## 正答数分布

平均正答数

中学校：8.8問 江戸川区（区立）：8.6問  
東京都（公立）：9.1問 全国（公立）：8.4問



## <四分位における割合(都全体の四分位による)>

上位 ← 下位

数 学	A層 13~16問	B層 9~12問	C層 6~8問	D層 0~5問
篠崎中学校	20.7	30.4	28.3	20.7
江戸川区（区立）	22.3	28.5	23.6	25.6
東京都（公立）	26.2	30.1	21.4	22.3
全国（公立）	20.4	28.5	23.7	27.4

## 【平均正答率の差】

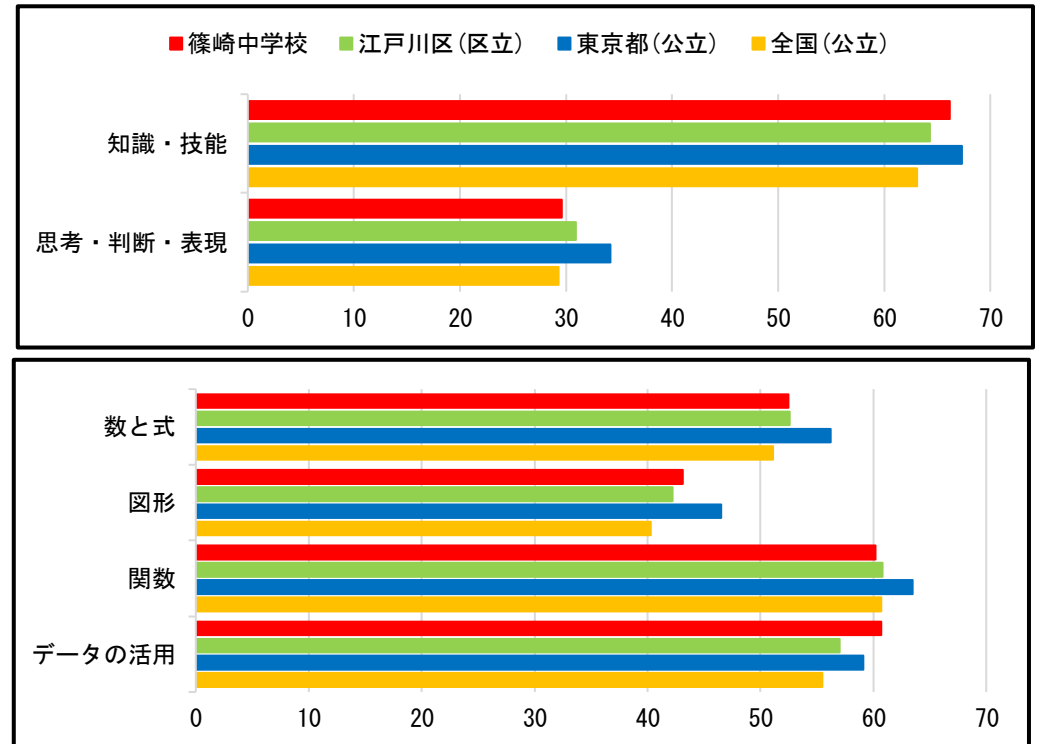
篠崎中学校	55%
江戸川区（区立）	54%
東京都（公立）	57%
全国（公立）	52.5%
都との差	2ポイント

%

## 【分析結果と授業改善に向けて】

全国と比べて上位層が少なく 中位層及び下位層に偏りが見られる。思考の過程を的確に表現したり、考えたことを数学的な表現を用いて説明したりすることに課題があると考えられる。様々な問題を数学を用いて解決できるようにするために、問題解決の構想を立てたり、問題解決の過程や結果を振り返ったりする活動を取り入れることが重要である。

## 「領域別」の結果



四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、生徒数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。下の表では、四分位によって生徒をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の生徒の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都（公立）のデータを基に定めている。